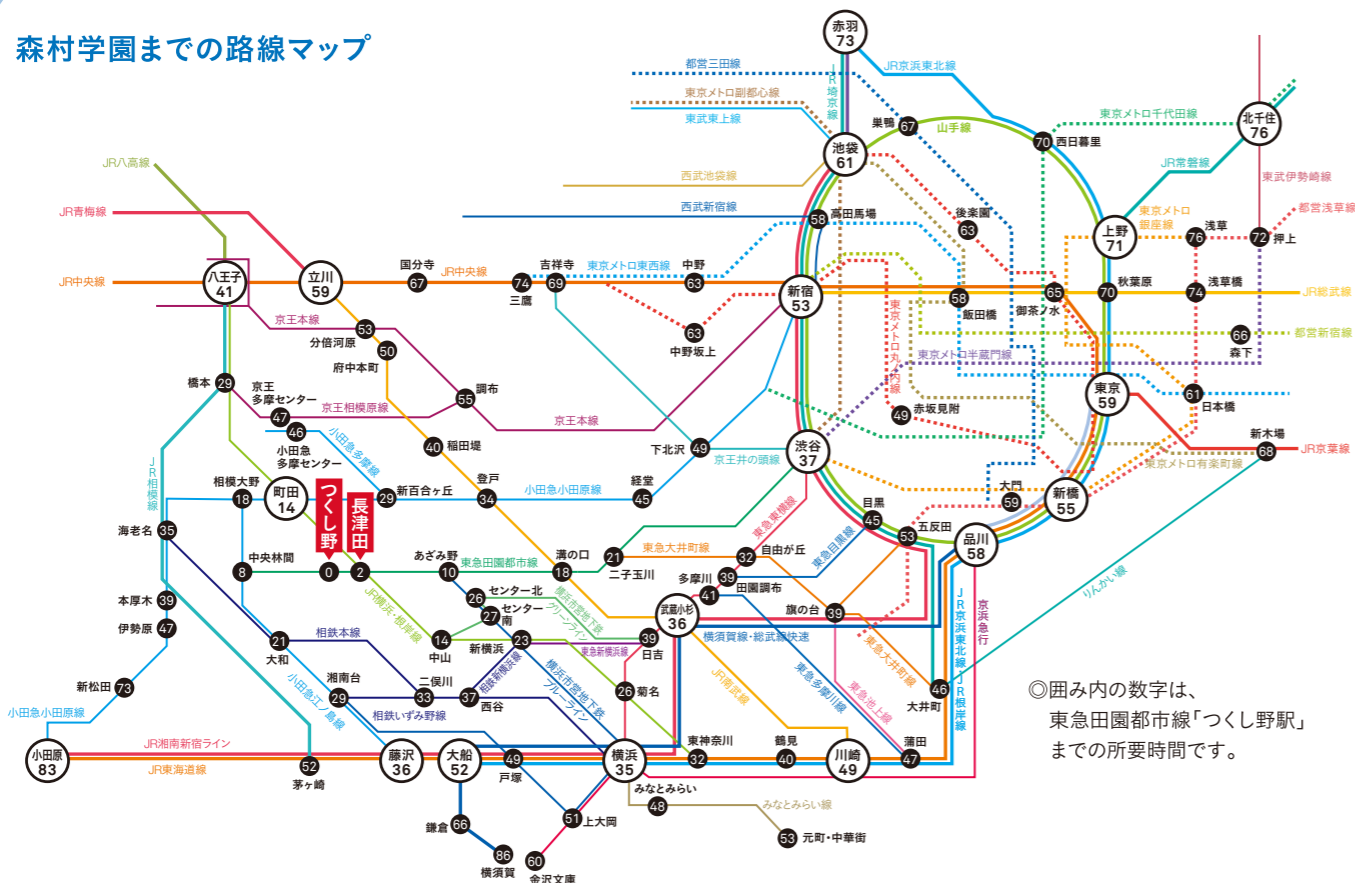
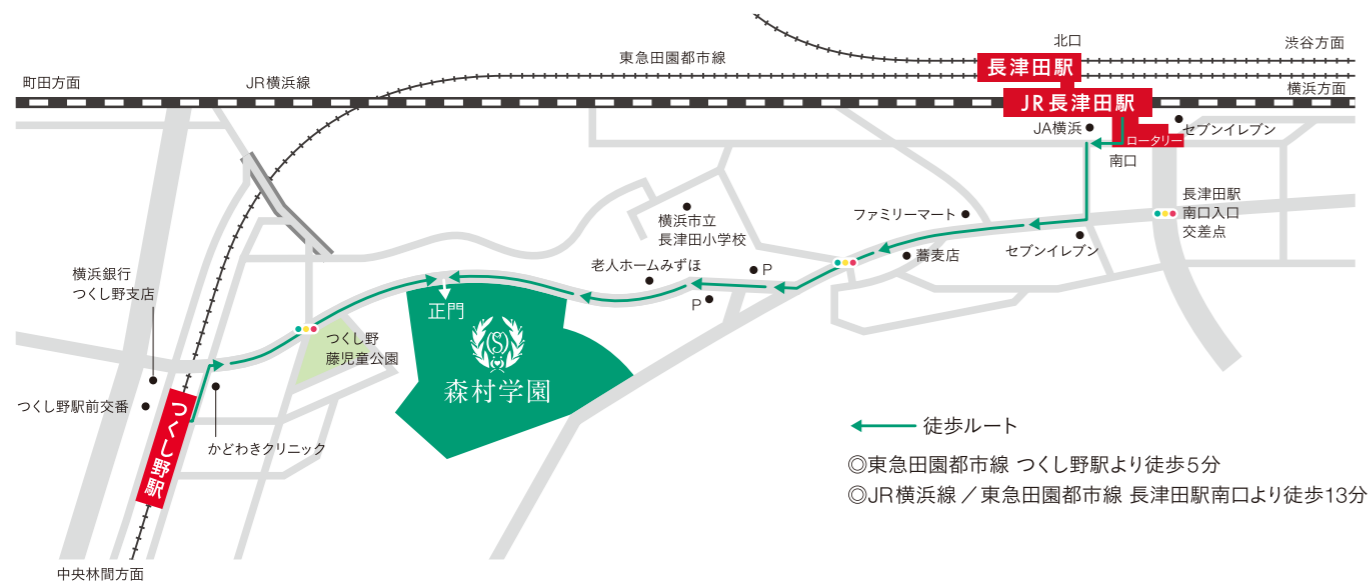


森村学園までの路線マップ



学園周辺マップ



INNOVATION MIND MORIMURA



 **森村学園** 中等部
高等部

[学校案内 2024]



森村学園
ホームページ



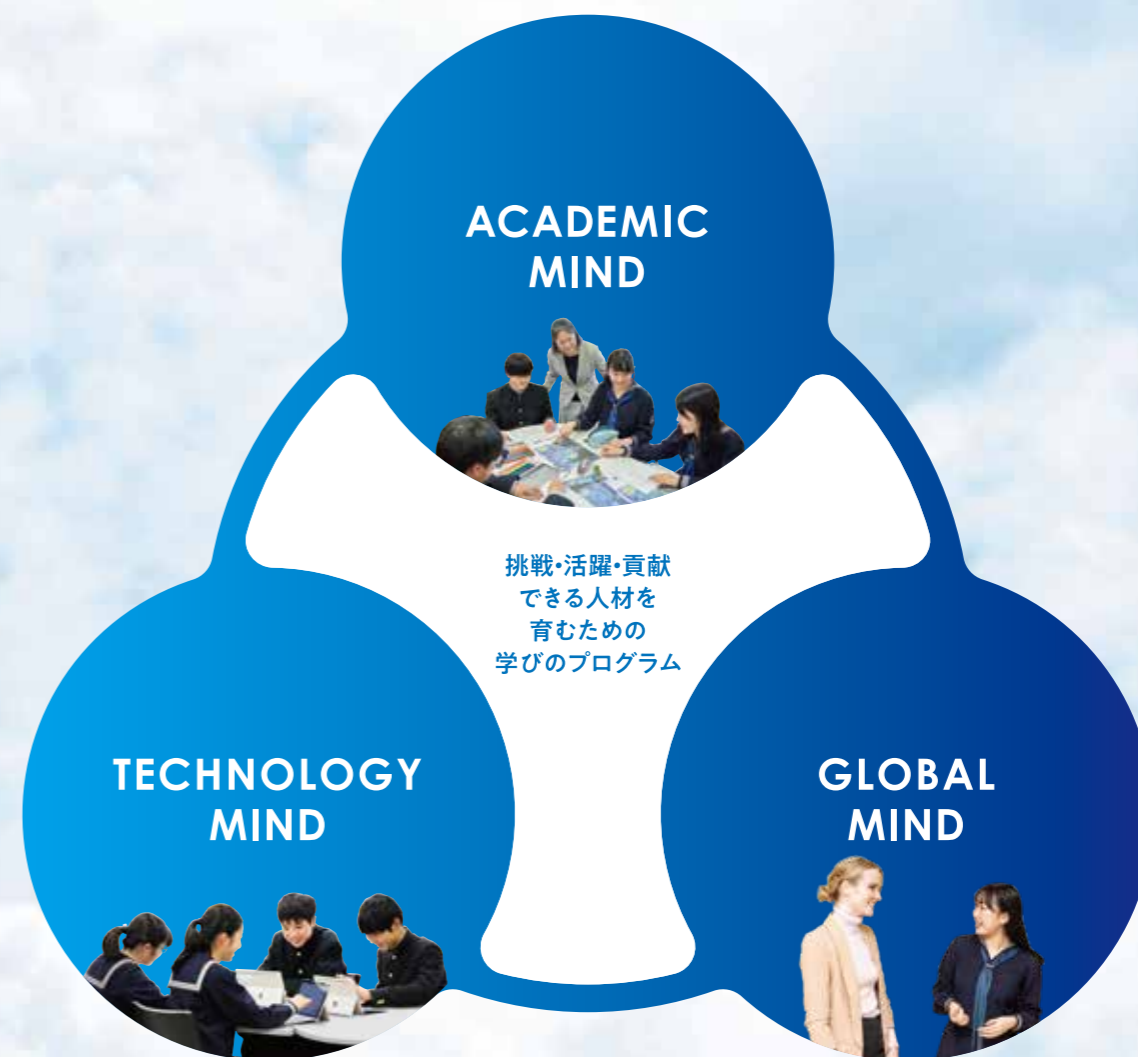
イベントの
お申込みはこちら



LINE
公式アカウント

INNOVATION MIND MORIMURA

建学の精神である「独立自営」の考えのもと
自ら**挑戦・活躍・貢献**する人材を
育てる教育プロジェクト



INNOVATION MINDで 未来を切り拓く

森村学園のイノベーションマインドは、絶えず変化し続ける
これからの社会で果敢に生きていくための教育プロジェクトです。

創立者森村市左衛門の掲げた「独立自営」を根幹に、
認知能力と非認知能力の両軸を大切にしたいプロジェクトで、
自らの力で成長を続ける生徒を育みます。

森村市左衛門が説いた、新しい時代を乗り越えるための建学の精神「独立自営」

創立者森村市左衛門は、幕末の混乱期に日本で初めて民間日米貿易を開始しました。当時、列強の国々との不平等な通商条約のもとで、日本の富が一方的に海外に流出していることを憂いた市左衛門は、貿易を振興し経済力を向上させ、国を豊かにしなければならないという断固とした使命感を持っていました。弟の献身的な協力のもと、

さまざまな辛苦の連続を乗り越え、不屈の精神と行動力で、日米貿易のバイオニアとして活躍しました。さらに、幕末から大正期にわたって、日本の経済や実業だけでなく社会福祉や教育の分野においても偉大な足跡を残しています。特に、晩年における「人づくり」にかける情熱と実行力はすさまじく、教育機関や研究所への多額の寄付だけでは終

わらず、東京高輪の自宅の一角に、のちの森村学園を創立しました。「依頼心を起こさず、胆力至誠の決心にて困難に打ち勝ち、人類社会の幸福を求めめる為に奮励努力する」という「独立自営」の精神と、市左衛門が大切にしていた「正直・親切・勤勉」は、森村学園の校訓として連綿と現在に継承されています。

建学の精神「独立自営」

教育理念

人徳を備え、自らの力で人生を切り拓き、世界の力、社会の力となる人材の育成

校訓 - 行動指針 -

■正直

誠実であることを最上とし、偽りのない人であれ。

正直

- ①自分自身に偽りのない心を持つ。
- ②相手を信頼し、誠実な心で接する。
- ③徳を重んじ、人として正しい道を歩む。

■親切

あたたかき心を持ち、行動する人であれ。

親切

- ①自らを大切にでき、人の悲しみや喜びに共感できる心を持つ。
- ②互いの個性や立場を尊重し、思いやりを持って行動する。
- ③自らを取り巻くすべてのものを愛し、大切にす。

■勤勉

人の力は無限に進む。学び続ける人となれ。

勤勉

- ①学ぶことの喜びを知り、真理を求め続ける強い心を持つ。
- ②自分や他者の良いところに気づき、よりよい関係を築こうとする。
- ③学びを生かし、自らの夢と幸せな社会の実現を目指す。



創立者・森村市左衛門

TOTO、ノリタケ、日本ガイシなど日本のセラミック産業の創始者として、また何よりも明治という時代に日米貿易に先鞭をつけた伝説的人物となっている森村市左衛門翁。「独立自営」の精神のもと、自らの屋敷の一角に幼稚園と小学校を創立しました。森村市左衛門翁の人生哲学であった「正直・親切・勤勉」は、そのまま森村学園の校訓として受け継がれています。



激動の時代を生き抜いた森村市左衛門ヒストリー



森村学園が歩んできた110年を振り返る

INNOVATION MIND MORIMURA

森村市左衛門の志を受け継ぎ、挑戦・活躍・貢献できる人材を育むための3つの学びのプログラム

ACADEMIC MIND

言語技術教育
+課題解決(PBL)型授業
アクティブリコール
ゴール+プロジェクト

TECHNOLOGY MIND

ICT教育
STREAMS
ニューソリューションズ

GLOBAL MIND

外国語(英語)教育
多文化+多様性
ソーシャルアントレプレナー



「あなたは何かができますか?」かつては、子供たちに「何を知っていますか?」という問いかけをしていました。しかし、現在の子供たちの世代には、「あなたは何かができますか?」が重要な問いとなります。すべての子供たちは、自ら学ぶスキルを身につけ、総合的な知識の土台を築き上げ続ける必要があります。この土台となる知識の上に、幅広い人生経験が加わることで、重層的で複雑な意味を理解することができ、またその知識を積極的にかつ巧みに活用するための枠組みが形成されます。AIや自動化ツールが加速度的に発展しても、重要な問いは「あなたは何かができますか?」ということに変わりはないでしょう。したがって、学校教育では、認知能力に加え、非認知能力を備えた生徒の育成をし、一人ひとりが理想の姿に向け、潜在能力を十分に発揮できるように導かなくてはなりません。本校の「アカデミックマインド」「テクノロジーマインド」「グローバルマインド」を軸としたイノベーションマインドプロジェクトでは、認知能力の育成はもちろんのこと、長期間に及ぶ勇気、集中力、決断力、前向きな姿勢、そして、挑戦・活躍・貢献や自己革新といった充実した人生を送るために必要な非認知能力の育成も重要だと考えています。

Brett Maxwell

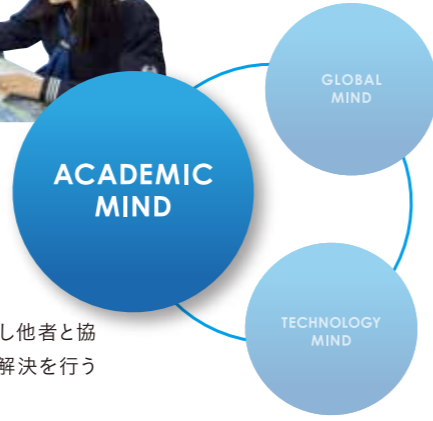
校長 Brett マックスウェル

校長動画プログラムを見る



激動の時代に、イノベーションマインドで人生を切り拓ける人へ

ACADEMIC MIND



アカデミックマインド

言語技術教育と課題解決型授業を活用し 総合的な思考を育む

グローバル社会で通用する論理的・批判的思考力を身につけ、自ら問題を発見・アプローチし他者と協働しながら解決できる人材を育てます。教科科目では、言語技術のスキルを活かして課題解決を行う授業設計で、主体的に学ぶ姿勢の定着を図ります。

グローバル人材の基盤をなす

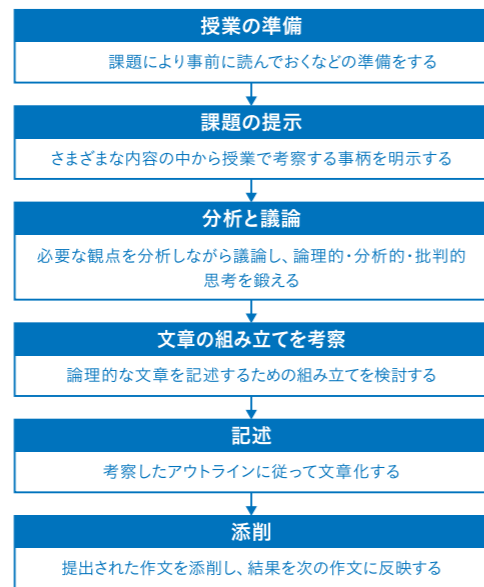
言語技術の特徴は、言葉を用いるさまざまな手法を生徒の参加と作文によって指導する点にあります。それは、対話・物語・説明・論証に分類され、問答ゲームを通して型に則って発信する方法を指導した後、大量の質問を浴びせて対象を分析的に捉え、自ら発問する能力を獲得させます。これを基盤に全ての授業がアクティブ・ラーニング、すなわち思考し、発信する形式で行われます。問答ゲームはパラグラフ形式の文章である小論文や英語の記述方式に発展します。この時必要な情報が空間的に配列する手法で、これは全体から部分に情報を組み立てる能力となります。文学も重要な要素で、そこには物語と絵・テキストの分析が含まれます。文学的教材や絵画を分析的批判的に考察することは深い教養の土台となります。こうした授業は全て議論で実施され、作文で完結されます。その繰り返しの中で、森村学園の生徒は国内のみならずグローバルに通用する母語力を身につけます。



授業では、つくば言語技術教育研究所のテキストを利用しています。

積み上げ方式の言語技術

数学と同様、最初は各スキルを個別に学習し、最終的にはあらゆるスキルを応用しながら論理的・分析的・批判的・創造的に思考して議論し、記述できるようにします。



「言語技術」とは

言語技術は、古代ギリシャの雄弁術などに端を発する言語教育で、西洋言語圏の母語教育の根幹をなすものです。その目的は、「聞く・話す・読む・書く・考える」という言語の5機能の鍛錬にあり、ここに文法事項や語彙の組み立てなどを含むあらゆる言葉の要素が含まれます。英語圏では母語教育の内容が言語技術なので、それを母語で身につけると英語の獲得につなげやすいのです。

言語技術教育

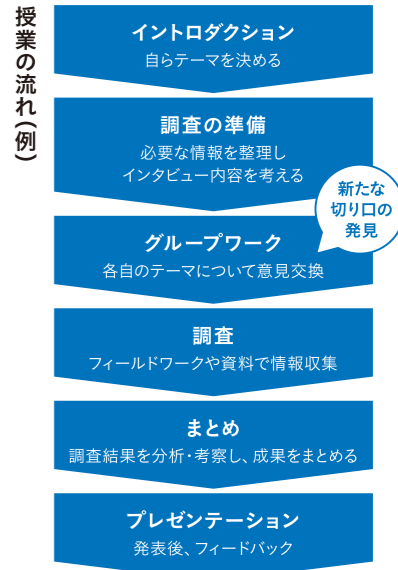
課題解決(PBL)型授業

答えのない問いに「自分なりの答え」を出す

中等部では「未知の世界を知ろう」をテーマに、社会での活躍を見据えたさまざまなプログラムを、PBL形式で実施しています。まず中1で行うのは、「創立者・森村市左衛門研究」。市左衛門の生き方を通して、世界で活躍するとはどういうことなのか、どのように新しい道を切り拓くのか、自らの路を模索していくための基盤をつくります。中2の「職業研究」では、各自興味のある職業について調査する過程で、グループワーク・発表を行います。中3では、「自由課題研究」において自ら問いを立て、課題解決にはどんな知識・調査が必要か、どのように発表したら理解してもらえるかを生徒主体で考えます。同様のテーマを研究する生徒同士でディスカッションし、新しい切り口を発見しながら、論文にまとめます。



Future Room(フューチャールーム)には可動式の机と椅子、プロジェクター、数多くのホワイトボードがあり、ダイナミックなグループ学習を可能にします。



新たな切り口の発見



探究学習

高1では、平和学習をテーマに広島を訪問。現地の学校や放射線影響研究所などでフィールドワークを実施した後は、学んだことをパワーポイント等にまとめて中等部の生徒に向けてプレゼンテーションを行います。



SDGs学習

SDGsカードゲームの体験や、17の目標に取り組んでいる企業を訪問した成果の発表などを通して、世界の課題を自分ごととして捉え、考えるきっかけをつくります。



シアターラーニング

プレゼンテーションで求められる豊かな表現能力を養うため、新入生オリエンテーションで実施。演劇のメソッドを取り入れながら自分を解放し、身ぶりも交えて人の心を動かすテクニックを学びます。



「言語技術」が身につく森村学園のカリキュラム

問答ゲーム

世界に通用する型(結論・根拠・まとめ)で発信する訓練です。同時に質問に答える力、分析的に発問する力を鍛えます。英語、およびパラグラフ構成の文章の土台にもなります。

再話

読み聞かされた物語を再生する訓練です。これを通して、物語を構造的に捉える力、重要点をメモする力、物語を文章化する力、大量に記述する力、要約力が身につきます。

空間配列

空間的に捉えた情報を論理的構造的に秩序立てる訓練です。情報の捉え方、組み立て方に影響を与え、小論文、論文、さまざまな情報文、プレゼンテーションの土台になります。

丸本

丸ごと一冊分析する授業を年間3冊実施します。物語の構造・視点・設定・人物・葛藤・暗喩・主題などを、内容に即して議論しつつ分析し、課題に対して論証文を記述します。

©2020.03.Tsukuba Language Arts Institute

NEW PROGRAMS

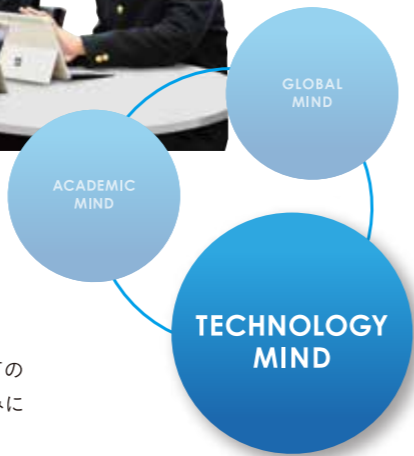
アクティブリコール

「アクティブリコール」とは、情報のインプットとアウトプットを活発に繰り返すことで、事実や知識を確認すると同時に、それらを取り巻く論理的な根拠も確認することができる、非常に効果的で効率的なディープラーニングの手法です。生徒たちは、答えと理由をセットにして質問に答え、学習した内容をお互いに伝え確認し合うことで、事実や知識の定着を図ります。

ゴール+プロジェクト

「挑戦」・「活躍」・「貢献」・「自己革新」の分野別に、生徒たちは自らの目標を設定します。その上で、目標を達成するための具体的なロードマップを作成し、学期ごとに振り返りと調整を行って、担任がフィードバックします。各学年では生徒一人ひとりの夢の方向性を探る活動として、探究的な学びをさらに深めていきます。

TECHNOLOGY MIND



最先端のICT環境を活用し、社会に向き合いながら 次世代の学びと探究を深める

本校では日常のコミュニケーションから授業、行事、課外活動など学校生活のあらゆる場面でICTの活用と工夫を活発に行っています。今後はさらに本校独自のSTREAMS教育などの新しい取り組みにICTを組み合わせることで生徒の探究心を育てていきます。

学びの可能性を広げ、 社会で生きる力をつける

本校では、2in1PC(タブレット端末としてもノートパソコンとしても使えるパソコン)を全学年で取り入れ、双方向的・主体的学びを目指しています。またMicrosoft認定教育イノベーターの教職員が6名おり、個別最適化した学びをはじめとする生徒へのきめ細やかな指導が可能です。情報取得能力の高い子どもたちの情報リテラシーを徹底的に高める指導も行いながら、学校生活や授業でのICT活用を通じて、世界で通用する人材を育成します。



ICT教育

2in1PC・ Microsoft Teamsの活用

本校では社会で必要とされる力を自然と身につけるため、2in1PCを利用して授業や課題提出、資料の共有も可能です。日常的に朝礼などのコミュニケーションでも活用します。

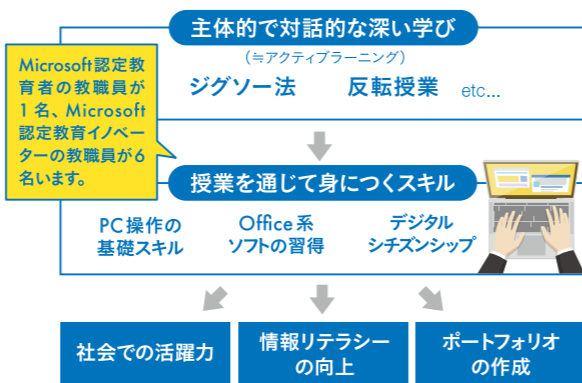


情報モラルだけでなく デジタルシチズンシップ教育

デジタル社会を歩む上で、被害者にも加害者にもならないために、情報モラルだけでなく、知識・技術と思いやりを持つことを入学翌日のオリエンテーションから身につけていきます。また、デジタルシチズンシップ教育は、日頃の授業で繰り返し行うだけでなく外部講師を招いた出張授業等で定着を図ります。



森村学園のICT教育



NEW PROGRAMS

STREAMS

実験ベースの理科(Science)、プログラミング講座を通じた情報技術の習得(Technology)、ロボティクス等の講座(Robotics・Engineering)、想像力と実用性を兼ね備えたデザイン・クリエイター思考をベースにした美術(Art)、毎日の小さな積み重ねで論理的な思考と問題解決能力を高める数学(Math)、テクノロジーとデータ分析を活用したスポーツサイエンス(Sports)など、これからの社会を生き抜くために必要な力を身につけるためのSTREAMS教育を行っています。

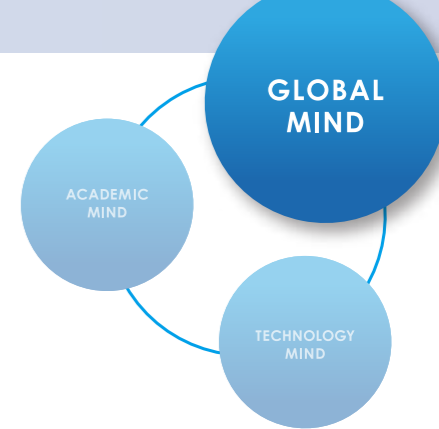


この授業は、Aldebaranの「NAO」を活用し、三菱総研DCSが独自に実施しています。

ニューソリューションズ

SDGsなど世界中を視野に入れたさまざまな社会課題を、AIを始めとした最先端のテクノロジーを活用して解決する方法を考える探究学習を行います。適切なICTツールの利用を学ぶとともに、思考力と創造力を伸ばします。

GLOBAL MIND



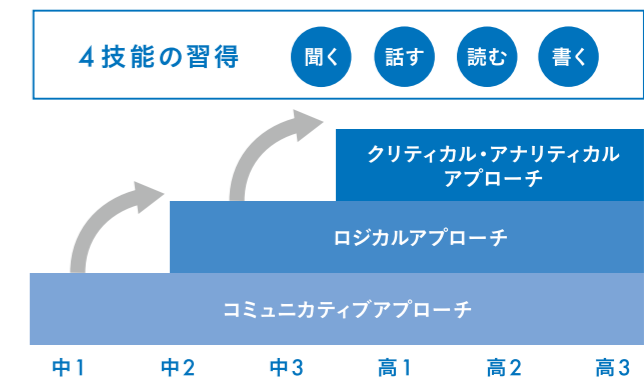
多様な言語と文化に触れ、世界を自らのフィールドとして活躍する土壌をつくる

一人ひとりが着実に学ぶ段階的な英語教育とともに、多言語・多文化講座や世界のさまざまな問題に目を向け、その解決策を模索する探究的な学びとして、ソーシャルアントレプレナー教育を実施。外国語の知識を得るだけでなく多様な価値観を理解し思慮をめぐらせることで、グローバル社会で活躍できる人材を育てます。

グローバル社会をたくましく生き抜く力を養う

森村学園での6年間の英語学習は、2年ずつ段階的にアプローチを発展させながら「聞く・話す・読む・書く」の4技能を習得します。初期段階の中1・中2では、コミュニケーションの道具として、英語を使えるようになることを目指すコミュニカティブアプローチ。中3・高1からは、より論理的に英語で考え、意見を述べる力の獲得を目指すロジカルアプローチ。高2・高3の最終段階では、批判的・分析的に物事を捉え、自らの考えを口頭で発表したり文章にまとめたりするなど、創造的で知的な英語の活用を目指すクリティカル・アナリティカルアプローチへと発展します。言語技術で学ぶ内容と合わせ、英語で論理的に自分の考えを述べられるようになります。

森村の外国語教育



ルート別授業

インプットとアウトプットを繰り返し、基礎から着実に学ぶ本校スタンダードのルートと、生活言語として使用してきた英語を学習言語へと発展させることを目的とするルートの2つから、自分に合った学習ルートを選択できます。



実践的な言語活動

中等部ではネイティブ教員による授業のみならず、通常の授業もクラスを分割して少人数で実施。校内スピーチコンテストやレシテーションコンテスト、海外研修などを通して実践的に英語を使う経験を積み重ねます。



英検®(実用英語技能検定)

学年ごとに合格目標を設定して英語力を底上げ。中等部在学中に準2級、高等部卒業までに準1級合格を目指し、事前の対策講座や2次試験対策の個別指導(希望制)でサポートします。



外国語(英語)教育

NEW PROGRAMS

ソーシャルアントレプレナー

ビジネス手法を用いて社会課題の解決を目指す探究的な学びです。まずは世の中を知るから始まり、自己理解を深め、課題や解決方法を見つける思考法を学びます。これらの課題解決方法をビジネスモデルに落とし込んだプレゼンテーション資料を作成し、発表する5日間の体験プログラムが2023年度からスタートします。



多言語・多文化講座(希望制)

多様な価値観に触れ、世界を広げることをねらいとし、多彩な講座を開講。言語の他にも、さまざまな文化や異なる価値観を知り、多角的に異文化理解を深めています。

- 講座の例 ●フランス語 ●スペイン語 ●プログラミング言語 ●ポルトガル語 ●東欧文化
●中米文化 ●フェアトレード ●ロボティクス ※その他の言語講座も準備中



US Dual Diploma Program(希望制)

US Dual Diploma Programは、本校の通常の授業に加え、放課後や週末にアメリカの名門高校の授業をオンライン受講し、日米2つの卒業証書を手にするというプログラムです。履修科目はアカデミックイングリッシュや美術・音楽鑑賞教育、海洋学、世界史など。日本に居ながらにして高度な英語力が身につくだけでなく、世界視点で学ぶことができるのも魅力です。



プログラム修了後のメリット

- 1 全米トップ5%の37大学への推薦入学 (TOEFL / IELTS / SAT / ACT / Foundation Course免除) ※一定の条件あり
- 2 英語圏の大学への進学
- 3 アメリカ大学給付型奨学金の受給資格の取得
- 4 スーパーグローバル大学・国内ハイレベル大学への実力養成 (日米両国の成績表・卓越したPortfolioで総合型選抜対策)
- 5 「帰国子女入試枠」を設ける国内大学への進学

多文化月間

月ごとに世界のある地域を割り当てて、その月間内は割り当てた地域の国旗を飾り、図書館での特集コーナーや文化講座などを実施。また、カフェテリアでは特別メニューとして、その地域の料理を提供するなど日常に多文化が存在する空間づくりを実施しています。

4月 オセアニア月間、5月 西欧月間、6月 南欧月間、7月 北中米月間など



多文化 + 多様性

海外研修

国際力(異文化理解・アイデンティティ)、国際コミュニケーション力(外国語力)、人間力(生きる力・自立心)の育成を目指して、さまざまな国でそれまで学び身につけたことを試し、異文化に触れるプログラムです。世界情勢の変化を受け、各種行事については現在改変を進めています。

これまでのプログラム

ニュージーランド研修旅行	中等部3年	マルタ研修	高等部1年・2年 / 希望制
オーストラリア研修	中等部2年~高等部2年 / 希望制	タム留学(オーストラリア)	高等部1年・2年 / 選抜制

公益財団法人森村豊明会および同窓会から「留学奨励金」が支給されます。



インバウンド

本校では例年留学生を受け入れていますが、留学生と交流することで多文化に触れ、多様な価値観を受容できる人材を育てます。

世界青年の船(2022年度実施)

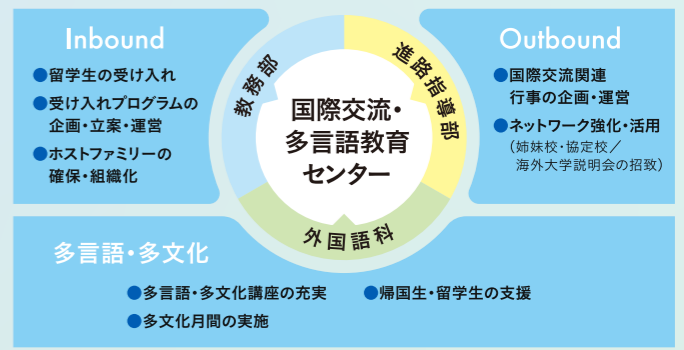
内閣府の青年国際交流事業のひとつとして、世界各地から17名の青年が来校しました。



森村学園のグローバルマインドを牽引する

国際交流・多言語教育センター

本校では「国際交流・多言語教育センター」が中心となり、グローバル教育を推進しています。当センターは、本校の国際交流関連プログラムを一括して企画・運営する組織です。語学研修、留学生の送り出し・受け入れはもちろん、日常に多文化が存在する空間をつくり出し、学校生活の中で多面的な価値観に触れることを目指したプログラムを運営しています。



森村学園が目指す「世界に伍す若者像」

- 1 国内外的なさまざまな文化や多様な意見を尊重し、**多角的に物事を考える**生徒
- 2 自他の**アイデンティティを尊重**できる生徒
- 3 積極的に**多くの人々とコミュニケーション**を取る生徒
- 4 時にハードトークもいとわぬ、**広い見識と論理力**を持った生徒
- 5 **世界の発展に主体的に寄与し**、幸福な生活を実現することのできる生徒

TOPICS

海外大学との提携

Taylor's University(マレーシア)
連携協定 指定校推薦枠3枠→2022年度卒業生1名進学

University of New South Wales(オーストラリア)
ファウンデーション・スタディーズ京都キャンパス 連携協定

Sunway University(マレーシア) ※予定

Arizona State University(アメリカ) ※予定

現在、他の国の大学とも交渉を進めており、今後も提携先を拡大していきます。また、上記以外に海外大学進学協定校推薦入試制度に加盟しています。



視野を広げることは、可能性を広げること

身についたのは、自ら挑戦・活躍・貢献できる確かな力

N.N 特に印象に残っているのは、国語の小論文の授業です。さまざまな社会問題がテーマに設定されていて、これまで目を向けてこなかったことに触れるきっかけになりました。自分について考えたり社会のことを考えたりすることは、良い挑戦になったと思います。

M.K 普段の授業では、グループで話し合って発表する機会が多いと感じます。そのおかげで自分の意見を述べたり、みんなの意見をまとめる力がつきました。

K.M M.Kさんの言う通り、グループワークの機会は本当にたくさんあります。最初はグループワークが苦手な人もいますが、そういった人をどうやって巻き込むかを学ぶことができました。言語技術の授業のおかげで、短い文章に意見をまとめて発表できるようになりました。そういった経験は、学校とは別に参加している八王子市の「子ども☆ミライ会議」の活動にも役立っています。

M.N 英語の授業でも発表する機会がたくさんあります。例えば他国の文化を調べて、それをみんなの前で発表しました。

N.N 最初は英語に不安があったのですが、そのような授業をたくさん受けてきて、自信がついたと思います。「なんとかなる」って楽観的に思えるようになりました！

K.M 僕ももともと英語が得意科目ではありませんでした。でも学校のスピーチコンテストを通して、自信をつけることができました。クラス単位から学年単位と続

いて、最後は学年の代表者が全校生徒の前で発表するのですが、そういった活動を通して特に「英語を話す力」が身についたと思います。

M.N 私が参加しているDDP(US Dual Diploma Program)では外国人の先生の話聞くことはもちろん、必ずディベートの時間があります。そこでグループに分かれて、その日のテーマについて話し合います。私はもともとディベートが苦手だったのですが、DDPでは全部英語で話すので、日本語を使うよりも恥ずかしさがなく度胸も鍛えられました！あとDDPの中にはいろんな教科があって、日本ではあまり学ばない美術史や海洋学なども深く掘り下げることができて楽しいです。苦手だったライティングも、先生に添削してもらったことできり伸びたと思います。



K.Mさん【中3】
学外ボランティア活動にも積極的に参加したり、よりよい学校づくりのために生徒会執行部に入ったり、自分がやりたいことに主体的に取り組んでいます。



M.Nさん【高3】
DDPでは苦手のディベートやライティングを克服！また、ゴルフ部部長の経験は挑戦すれば目標は達成できるという自信につながりました。



N.Nさん【高3】
将来、日本文化を多くの人に発信していきたい。その夢を実現するために茶道部の部長として、いろんなことに挑戦中です！



M.Kさん【高1】
生徒会長として、さまざまな挑戦をする中で、何か選択を迫られた時はあえて辛い方を選択することが、自分の成長につながっています。

さあ、輝かしい未来が待っている

森村で成長したこと、そして将来の自分へのメッセージ



M.N 私は、学校生活を通して、頑張ったことがちゃんと結果につながることを学びました。部活動でも目標をほとんど達成することができたので、「挑戦すれば達成できる」という自信ができました。将来も今のように目標に向かって挑戦し続けていると思うし、どうやって活躍と貢献をできるかを考えていると思います。

M.K 小学生の頃に街で外国の方が困っていたのに当時の自分は英語が分からず助けることができませんでした。でも、この間また同じ状況があり、今度は授業で学んだ英語を使って助けることができました。将来も英語を使って海外で活躍したり、ボランティア活動したりして社会に貢献していきたいです。また、子どもが好きなので、子どもと関わることもしていると思います。

N.N 僕ももともと国語が苦手、理系に進むつもりでした。でも、中2の国語の授業を通して「文化を学べるのは文系だ」と思いました。それから国語の学習に力を入れ、今は苦手から脱却できたと思います。もし、森村じゃなかったら何も考えずにいたかもしれません。視野が広がったと感じます。将来はやっぱり文化交流の分野で活躍したいです。これまでの学びを活かして、リーダーとして主体的に働きつつ、同じ意志を持った人々と協力しながら社会に貢献していきたいです。

K.M 森村に入って新しい考え方を知ることができ、良い意味で価値観が変わったと思います。森村では、ただテストで成績をつけるのではなく、発表したり、グループワークをしたり、それぞれの得意なことを応援してくれて、成長させてくれます。将来は、自分や誰かの「こうなったらいいな」ということを実現する手助けができればと思います。

学び、活かし、そして未来へ

本校の教育プロジェクトである「INNOVATION MIND MORIMURA」の土台となっているのは、自ら「挑戦」・「活躍」・「貢献」しようとする心です。ここでは、実際に森村学園で学ぶ4人の生徒に、本校での学びを通してそれぞれがどのような「挑戦」・「活躍」・「貢献」をしているかについて語ってもらいました。

人に喜ばれると、人は嬉しいものだから

挑戦・活躍・貢献したことで待っていた「成長」

N.N 僕は将来、日本文化を発信して多くの人に知ってもらいたいと思っています。今はそのために茶道部の部長として、日々いろいろなことに挑戦中です。文化祭に向けての活動に取り組んだり、後輩にアドバイしたりしていると、少しは誰かに貢献できているのかなと感じるし、その点は成長できた部分です。

M.N 私もゴルフ部の部長になったことが、大きな挑戦だったと思います。みんなに指示を出したり後輩の指導にあたりたり、今までにない経験をたくさんさせてもらいました。中学生までは自分が結果を出すことで満足していたけれど、人が喜んでくれたことを喜べるようになったところは成長した点です。

M.K 私は生徒会長になって、いろんな企画をしたりみんなをまとめたりとたくさんの挑戦をしました。生徒

会では、行事や学校生活に関わる事柄を生徒自身が主体的に決めることができます。最初は自分だけで動く方が楽なので一人で決めて解決していましたが、手間はかかっても後輩たちに伝えて経験してもらったことが必要だと感じて、それを意識するようになりました。あえて辛い方を選ぶ経験は、自分の成長につながっています。

K.M 僕も「学校を良くしたい」という思いで、今年から新たに生徒会執行部に入りました。生徒と生徒会執行部が協力し合えるようにしていきたいです！



イノベーションシートって何？

イノベーションシートは、「挑戦」「活躍」「貢献」「イノベーション」の分野別に生徒自らが目標を設定し、その上で目標を達成するための具体的なロードマップを作成するワークシートです。年度の初めに配付され、学期ごとに振り返りを行い調整しながら、担任からのフィードバックをもらって個々の実践を磨き上げていきます。



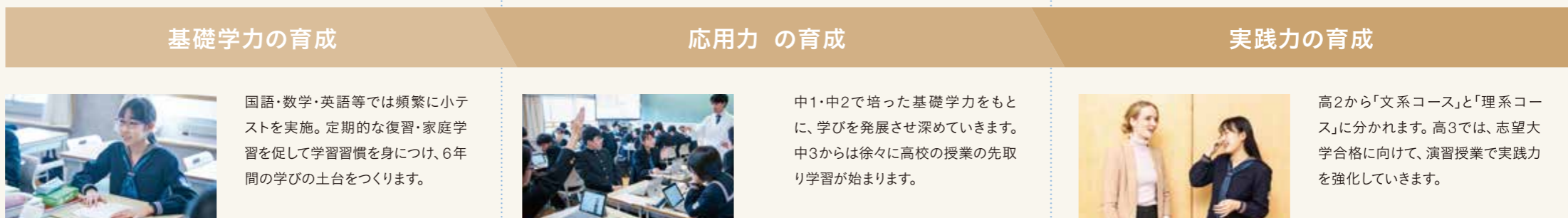
6年一貫教育

大学進学とその後の未来を見据え、
6年一貫の利点を活かした横断的な学習プログラムを設計しています。

中部1年 中部2年 中部3年 高等1年 高等2年 高等3年

3つの教育ステージ

6年間を3つのステージに分け、先のステージを見据えて「今」必要な学習を徹底して指導します。



基礎学力の育成



国語・数学・英語等では頻繁に小テストを実施。定期的な復習・家庭学習を促して学習習慣を身につけ、6年間の学びの土台をつくります。

応用力の育成



中1・中2で培った基礎学力をもとに、学びを発展させ深めていきます。中3からは徐々に高校の授業の先取り学習が始まります。

実践力の育成



高2から「文系コース」と「理系コース」に分かれます。高3では、志望大学合格に向けて、演習授業で実践力を強化していきます。

イノベーションマインド

学期ごとに自らの成長を振り返りながら、授業や課外活動などさまざまな学びの場を通じて「挑戦・活躍・貢献」するマインドを育みます。

P.01

ACADEMIC MIND	「言語技術教育」と「課題解決型授業」の両輪で、グローバル社会で通用する論理的・批判的思考力を身につけます。	P.05
TECHNOLOGY MIND	2in1PCを使って、双方向的・主体的な学びを実現し、日常的にPCを使用することで社会で役立つICTスキルを身につけます。	P.07
GLOBAL MIND	多彩な多言語・多文化講座やソーシャルアントレプレナー教育を通して、日常的に異文化や多様な価値観に触れる機会を増やします。	P.08

教科教育

6年間を見通した授業計画で、希望の進路を実現できる学力を身につけます。

P.15

国語	中部では読解(国語I)と文法(国語II)の授業を分け、基礎力を養います。中3からは高校の現代文や古典の内容を含めて学習します。
数学	中学・高校の学年・分野を融合。理解しやすく、体系的かつハイレベルな「体系数学」を教科書に採用しています。
理科	中1～中3は上半期に化学(理科1)・生物(理科2)を、下半期に物理(理科1)・地学(理科2)を学びます。
地理・歴史・公民	中1は日本地理・世界地理、中2は歴史、中3で近現代史・公民を学びます。
指名補習(6年間)	主に国・数・英において成績によって対象者を指名し、長期休暇中やその都度行う講座で苦手を克服します。

文理選択

高2進級時に文理選択を行います。目指す進路、受験する教科に合わせて柔軟に教科を選択することが可能です。



希望補習(高等部生) 高2・3は目的別講座が選択可能。

キャリア教育

目指す進路と進学先を具現化します。

P.21

進路指導	自ら目指す「路」を明確にする手助けをします。	P.17
進学指導	具体的な進学先を設定、志望校合格のために全力でサポートします。	P.18

行事

行事は人を育てます。研修旅行や校内行事を通じて多様な世界に触れ、主体性を持って行動する姿勢が身につきます。



箱根・富士研修旅行



イングリッシュキャンプ



オーストラリア修学旅行



広島研修旅行



京都・奈良修学旅行

(2023年度は一部変更して実施予定)

「独立自営」の精神で人生を切り拓ける人へ

国語

自らの考えを適切な言葉で表現する力をつける

言葉を使う時に大切な「考える力」「読み味わう力」「書く・創る力」「話す・聞く力」「言語知識の力」という5つの力を育みます。中1から中3では「心の大地に種をまく5分間」を実施し、それぞれの年齢やその時の社会情勢に応じた小説、有名作品の冒頭、評論文などを読解することで、さまざまな言葉や表現を自分のものにします。

社会

学び考えたことが人生の核になる

中1の段階では、まず、社会科を好きになることからスタート。学んだことと実社会のつながりを、頭と心と五感を使って考え、学ぶ意欲を引き出します。さらに教科書の内容をベースにしたオリジナルプリントを全授業で使用し、幅広いテーマを扱うことも大きな特徴です。正解のないあらゆる問題に対して、自分で考える力を養います。



数学

論理的に考察する力を育む

毎日の学習習慣を定着させるために、問題集のノート提出を通じて、途中式の書き方や直しの大切さを指導します。中2までに中学の学習内容を終え、中3の1学期から高校の数学がスタートします。高1では習熟度別授業を実施。粘り強く考える力と、論理的に考え判断する力を養います。



技術家庭

チームティーチングで実技を大切に指導

各領域で実習を数多く取り入れ、よりよい生活を送るために必要な知識や技術を習得し、実生活におけるいろいろな課題を解決する方法を学びます。実習はチームティーチングで行っており、生徒一人ひとりにきめ細やかな実技の指導をしています。高等部では、より実践的・体験的な学習を行い、社会との関連から広く生活のあり方を考えるきっかけをつくっています。



イノベーション mindset を支える
確かな学力と感性を養う

音楽

豊かな表現力を身につける

中等部では楽曲分析を行い、作曲者の意図を学びます。また、中1では琴を体験。「さくらさくら」を全員が弾けるように練習します。高等部でもいろいろなジャンルの数多くの作品に触れ、多種多様な表現方法を学びます。音楽教育は、他者とのコミュニケーションの大切さを学び、感受性や協調性、豊かな人間性を育む大切な教科です。



理科

数多くの実験にじっくり取り組み分析・考察する

充実した設備で、教科書にないオリジナルの実験も交えた数多くの実験に取り組みます。実験助手が必ずサポートにつき、安全に進めることができます。中等部のうちから高校の学習内容も取り入れ、難しい実験にもチャレンジします。



芸術鑑賞

芸術鑑賞でも一貫カリキュラムを意識

中等部では日本文化を、高等部では西洋文化を学びます。例えば、中1では和楽器、中2では狂言、中3では寄席を鑑賞。これは日本文化を理解し、海外研修などで語れるようにすることも目的としています。高等部では、ミュージカル・演劇・バレエなどを鑑賞します。事前学習を踏まえ、本物の舞台に触れて心からの感動を覚え、感性を養います。



書道

充実した環境で本格的な作品づくりにもチャレンジできる

広々とした書道室では、教室の机では書けないようなサイズの作品に挑戦することが可能です。また、硬い発泡スチロールを木材に見立てて刻字するなど、ユニークな作品づくりにも挑み、自分の表現したいことを形にする力や集中力、納得いくまでやり抜く力を育みます。



保健体育

心も体も鍛える

全学年において男女共習で行い、高2・3では選択制を取り入れ、さまざまなスポーツの楽しさを学びます。「心も体も育てる」ことを意識し、仲間との関わりを通して、社会で役立つスキルを身につけます。



美術

試行錯誤する力を育てる

中等部ではさまざまな表現方法や技法を体験します。また、古今東西の芸術作品を鑑賞することによって、多様な視点や価値観に触れます。高等部では選択授業でより専門的に学び、コンセプトを重視した作品づくりを促します。自分の思いを実現していくことの難しさと面白さを実感しながら、よりよいものを目指して工夫していく心を育てます。





教育活動の最適化と夢に近づくための徹底したサポート

「未知の世界」に目を向け、自らの夢の方向性を探る「進路指導」。その夢を実現させるために必要な知見を広げ、学力を向上させる「進学指導」。それら2つは車の両輪のごとく、生徒一人ひとりの希望を叶える役割を果たします。

進路指導

進学指導

中等部

1年

2年

3年

高等部

1年

2年

3年

個別の
アプローチ

ポートフォリオ 中1入学当初から高3卒業の日まで、試験・行事の記録、調べ学習、探究活動など個人の成長をファイリングし、6年間の成長を目に見える形で残していきます。

生徒面談

学習の記録

ベネッセ学力推移調査(年3回) / ベネッセ総合学力調査(年1回)



ベネッセスタディサポート(年1回) / 河合塾全国統一模試(年1回)

ベネッセ総合学力テスト(年3回)

ベネッセ共通テスト
模試(年1回)

ベネッセ総合学力記述模試(2回)、ベネッセ大学入試共通テスト模試(1回)、駿台ベネッセ共通テスト模試(2回)・記述模試(1回)、駿台共通テストプレ(1回)

6年間を通した
具体的な学習計画で
学びを結びつける

シラバス 「シラバス」とは、夢を叶えるための6年間の具体的な学習計画です。計画的に学習を進める上で、授業内容や到達目標を確認しながら、頭の中で常に「これまで何を学んできたのか?」「今、なぜこれを学んでいるのか?」「これから何を学ぶのか?」というイメージを描きます。

進路の手引き 大学入試に関する基礎知識や受験のポイントだけでなく、卒業生の体験や参考データを掲載しています。



自分の世界を広げ、
興味の方向性を探るための
基盤をつくる

「高い志」を育む創立者研究

創立者森村市左衛門の人生哲学や功績を学び、その生き方から校訓である「正直・親切・勤勉」や建学の精神「独立自営」の真の意味について探究します。学んだことは一人ひとりがレポートや新聞にまとめて発表し、主体的な学びへと高めていきます。



職業研究

講演会や各自の調査、インタビュー、職場体験などを通じて興味のある職業について学び、レポートにまとめてプレゼンテーションを行います。進路についてのイメージをふくらませ、今後どのような学びが必要か考えるきっかけとなります。



文化比較研究 (オーストラリア修学旅行)

授業や校外行事などを通じて日本文化への理解を深めます。また、オーストラリア修学旅行を通して見聞を広め、海外と日本の文化を比較することで多様性を学びます。



自由課題研究

各自で興味のある分野を追究し、レポートを作成。自ら問いを立て、ひとつの事柄を突き詰める粘り強さを身につけます。レポート作成の過程で、言語技術で学んだことが大きく活かされます。

キャリア学習で
未来を
イメージ

進路の日 1日を通して大学の出前授業や説明会を実施し、大学で学びたいことや受験について具体的にイメージします。

オープンキャンパスレポート

夏休みには、各大学で開催されるオープンキャンパスに参加し、レポートを作成。公開講座などの受講を通じて自分の追究したい学問がより明確になります。



大学受験を語る会

大学に合格したばかりの高3生が、後輩たちに向けて実体験を語ります。



志望校合格のための
実力をつける

駿台サテライト講座

自習室や2in1PCで、駿台予備学校が提供する映像授業を安価で受講できます。主に高3対象ですが、高1・2向けの講座もあります。



2コマ連続授業

高2になると、2コマ連続の110分授業が増えます。大学受験問題を解き、しっかりと解説を受けられます。

文理選択

高1の間に夢の実現に必要な教科を検討し、文理を選択。高2から文理コース別授業がスタートします。

徹底した大学受験対策

高3では、各教科で難関大学合格に向けた過去問題演習などを行い、大学入試に向けて実践的な力を身につけます。

未来へのステップ // 希望する進路へ

TOPICS

医系総合大学 「昭和大学」と連携

昭和大学と特別協定校として協定を締結しています。今後の高大連携の実現を図るために、さまざまな相互交流を実施しています。

連携のポイント

- ・大学教育の一端を理解させるプログラムの提供
- ・高等部の正規授業、課外授業等に対する支援
- ・双方に有益な教育活動等の展開
- ・昭和大学への受験希望者に対する特別推薦枠※の適用
- ※推薦枠…医学部・薬学部など

海外大学との連携 →P.10



2023年度
大学入試結果

6年間の学びが「夢の入り口」へ導く

森村学園は、生徒の希望や適性を第一とし、その先の社会生活も見据えたきめ細やかな進路指導、進学指導を行っています。この春卒業した168名の生徒たちは、コロナ禍による困難の多い高校生活の中でも仲間と支え合いながら自らの「夢の入り口」に立ちました。大学入学共通テストをはじめとする一般選抜だけでなく、昨今増加傾向にある学校推薦型、総合型選抜などのさまざまな入試制度の変化にも対応しています。

TOPICS

現役合格

東京大学(文科一類)

1名

現役合格

京都大学(法学部/総合人間学部)

2名

現役合格

お茶の水女子大学(生活科学部)

1名

現役合格

東京医科歯科大学(歯学部)

1名

2023年度大学入試結果【現役進学者数】

大学入試結果の情報はホームページでもご紹介しています。



国公立大学

2023	2022	2021	
東京大学	1	東京工業大学	1
京都大学	2	東京工業大学	2
東京医科歯科大学	1	東京医科歯科大学	1
お茶の水女子大学	1	東京芸術大学	1
電気通信大学	2	横浜国立大学	2
東京都立大学	1	東北大学	1
横浜市立大学	3	山梨大学	1
川崎市立看護大学	1	鳥取大学	1
		大分大学	1
		横浜市立大学	4
合計	12	合計	15

首都圏主要私立大学

	2023	2022	2021
早稲田大学	5	10	6
慶應義塾大学	4	4	5
上智大学	5	3	6
東京理科大学	2	4	4
国際基督教大学	1	1	0
明治大学	5	10	4
青山学院大学	5	10	8
立教大学	6	3	7
中央大学	7	9	3
法政大学	5	3	6
学習院大学	1	2	3
日本女子大学	2	2	2
東京女子大学	1	1	1
明治学院大学	5	1	4
成蹊大学	4	1	3
成城大学	1	1	0
合計	59	65	62

医学部医学科

2023	2022	2021	
昭和大学	1	大分大学	1
東海大学	1	昭和大学	1
北里大学	1	杏林大学	1
カレル大学	1	埼玉医科大学	1
合計	4	合計	4

海外大学

2023	2022	2021	
Taylor's University Foundation(マレーシア)	1	The University of Melbourne(オーストラリア)	1
Truman State University(アメリカ)	1	Brigham Young University-Hawaii(アメリカ)	1
University of Wollongong in Dubai(アラブ首長国連邦)	1		
Charles University(チェコ)	1		
合計	4	合計	2
		合計	1

【卒業生数】2023年度 168名 / 2022年度 174名 / 2021年度 182名



卒業生
合格体験記

新たなステップへ

森村でつけた夢への第一歩を踏み出した2022年度の卒業生たちに、志望校合格までの道のりを振り返ってもらいました。



金子 太一さん

進学先

東京大学 文科一類

中等部2年次に大使館勤務の方から聞いた話をきっかけに官僚を目指すようになり、同時に東京大学を志望校に決めました。それ以降、先生方は僕の夢に理解を示してくださり、官僚という職業や大学入試に関する情報などをさまざまな形で提供してくださいました。これらが僕の受験や進路決定の後押しになったと感じています。



近藤 花鈴さん

進学先

京都大学 法学部

6年間テニス部で過ごした経験があったからこそ、私は第一志望に合格できたと思います。毎日練習に励む中で培った精神力と体力は、受験の際に大きな助けとなりました。また、そこで出会った仲間たちには何度も助けられました。仲間とともに支え合いながら、勉強にも部活にも真剣に取り組むことができる環境に恵まれたことに感謝しています。



田栗 綾称さん

進学先

カレル大学 第一医学部予備コース

私が受験期を乗り越えられたのは、森村で出会った仲間の存在が大きいです。辛い時期に励まし合って切磋琢磨できる仲間の存在が私を支えてくれました。また、学校の海外研修で「英語を学ぶ」のではなく「英語を使って学ぶ」経験をし、その難しさと重要性を感じたことや、DDPに挑戦したことが海外の大学を目指すことにつながりました。



川崎 孝心さん

進学先

慶應義塾大学 理工学部

森村は先生や友達に相談しやすい環境があり、自分も親身に相談に乗ってもらったおかげで進路を決めることができました。「自分の人生だから、自分が楽しいと感じる方を選びたい」という友達の言葉がとても印象に残っています。高3の夏休み、気合を入れて勉強した分、疲れがたまっていたが、友達や先生に会うことが心の支えになりました。



学園ホームページにて、卒業生インタビュー公開中

希望の路で活躍する 森村生

希望の路に羽ばたいていった卒業生たちに、森村らしさを感じるエピソードや、社会に出てから活きている森村での学びなどについてインタビューしました。

ホームページは
こちらからご覧ください



森村学園は、個性を尊重して自分らしく成長させてくれる場所です。
太田 ゆかさん(立教大学 観光学部交流文化学科卒)

南アフリカ クルーガー国立公園
サファリガイド



森村だからつながる『ご縁』が僕の人生を豊かに彩ってくれています。
岩井 裕太郎さん(横浜市立大学 国際総合科学部卒)

ジブラルタ生命保険株式会社
(新宿支社 第11営業所所長)

箱根・富士研修旅行(中等部1年)
 さまざまなアクティビティを通して、海と山両方の自然から多くのことを学びます。

イングリッシュキャンプ(中等部2年)
 2泊3日の英語漬けキャンプ。ネイティブスピーカーの教員とさまざまなアクティビティを行います。

広島研修旅行(高等部1年)
 平和学習をメインテーマとした研修旅行。フィールドワークなどを通して探究活動にも取り組みます。

京都・奈良修学旅行(高等部2年)
 日本の歴史・伝統・文化にじっくり触れ、理解を深める4日間。

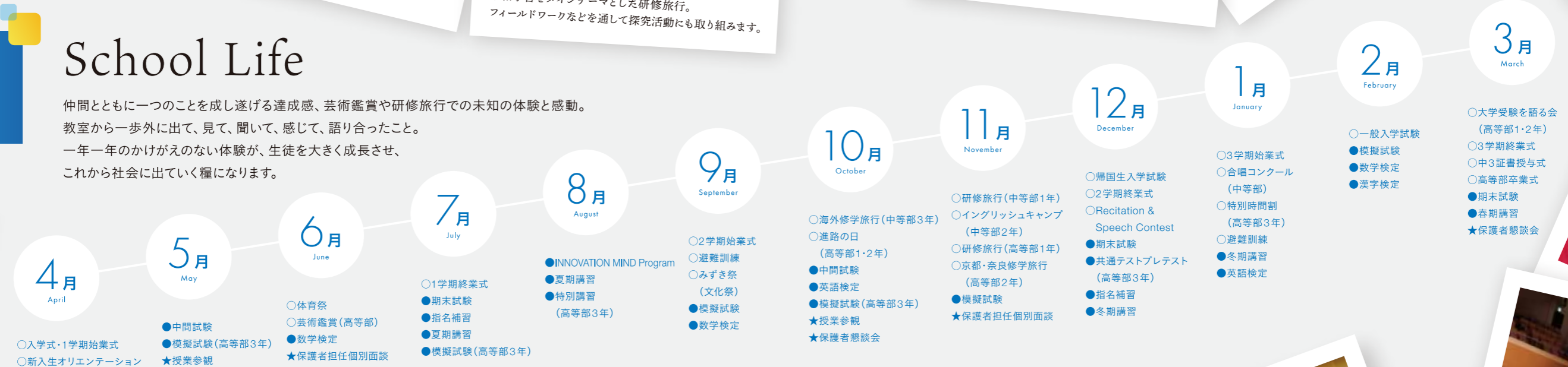
体育祭
 中等部と高等部が団結して、優勝を目指して戦います。



学校行事

School Life

仲間とともに一つのことを成し遂げる達成感、芸術鑑賞や研修旅行での未知の体験と感動。教室から一歩外に出て、見て、聞いて、感じて、語り合ったこと。一年一年のかけがえのない体験が、生徒を大きく成長させ、これから社会に出ていく糧になります。



森村学園の1日 勉強も部活動も全力で

自然豊かな落ち着いた学び舎で、今日も1日が始まります。クラスメイトと刺激し合いながら学び、放課後は部活動へ。



8:30 までに登校

元気な挨拶から1日が始まります。



8:30 HR・朝読

朝のホームルーム後の約10分間、心を静め集中して読書に取り組みます。



8:50 1校時

充実した設備と環境で、勉強に集中。クラスメイトと刺激し合って学びます。



12:40 昼食

広いカフェテリアや教室で、昼食。日替わり定食も楽しみの一つです。



13:00 休み時間

授業の合間に、気軽に先生に質問。オープンな職員室に生徒が集まります。



14:20 6校時

1日の最後の授業まで、集中力を保って臨みます。



15:45 部活動

放課後は、やりたいことに思いっきり打ち込みます。



18:00 完全下校

時間どおりに部活動を終え、下校します。



合唱コンクール(中等部)

心を一つに、1年間を通じて築いた団結力を発揮します。

みずき祭(文化祭)
 クラス・部活動・有志団体などが準備から主体的に行い、2日間のイベントを全力で創りあげます。



野球部

【活動日】
中等部 月・火・土
高等部 火・木・(金)・土
【活動場所】グラウンド
※中等部 軟式・高等部 硬式



サッカー部

【活動日】月または火・金・土
【活動場所】グラウンド



バレーボール部

【活動日】
中等部男子 月・金・土
高等部男子 月・木・土
中等部女子 火・金・土
高等部女子 火・木・土
【活動場所】高等部体育館



硬式テニス部

【活動日】
中等部男子 火・金・土
高等部男子 月・木・金
中等部女子 月・火・土
高等部女子 火・木・金
【活動場所】テニスコート



バスケットボール部

【活動日】
中等部男子 月・火・(金)・土
高等部男子 火・木・(金)・土
中等部女子 月・金・土
高等部女子 月または金・木・土
【活動場所】中等部体育館



陸上競技部

【活動日】
中等部 火・金・土
高等部 月・火・木・金・土のうち3日
【活動場所】グラウンド



バドミントン部

【活動日】
中等部 月・金・土
高等部 火・木・土
【活動場所】初等部体育館



ゴルフ部

【活動日】
中等部 月・土
高等部 金・土
【活動場所】校外ゴルフ練習場
学園内



部活動

学年をこえて 好きなことに熱中!

森村学園の部活動には多彩なジャンルがあり、
多くの生徒が参加しています。
中高一貫の6年間の中で、先輩・後輩の深い絆や関わりが生まれ、
人間関係を構築する力が養われます。
ともに夢中になれる仲間や、かけがえのない日々、
そして心から打ち込める何かに、きっと出会えることでしょう。



剣道部

【活動日】火・金・土
【活動場所】幼稚園ホール



空手道部

【活動日】
中等部 月・土または火
高等部 月・木・土または火
【活動場所】幼稚園ホール



新体操部

【活動日】
中等部女子 月・(火)・金・土
高等部女子 火・木・(金)・土
【活動場所】高等部体育館



管弦楽部

【活動日】月・火・金・土のうち3日
【活動場所】第2音楽室他



合唱部

【活動日】火・金
【活動場所】第1音楽室



ESS部

【活動日】月・金
【活動場所】101教室



演劇部

【活動日】火・金
【活動場所】ホール



美術部

【活動日】火・金・土
【活動場所】第1・第2美術室



科学部

【活動日】火・金
【活動場所】第1理科室



囲碁将棋部

【活動日】火・金
【活動場所】201教室



料理部(高等部のみ)

【活動日】火
【活動場所】第2調理室



華道部

【活動日】火
【活動場所】書道室



茶道部

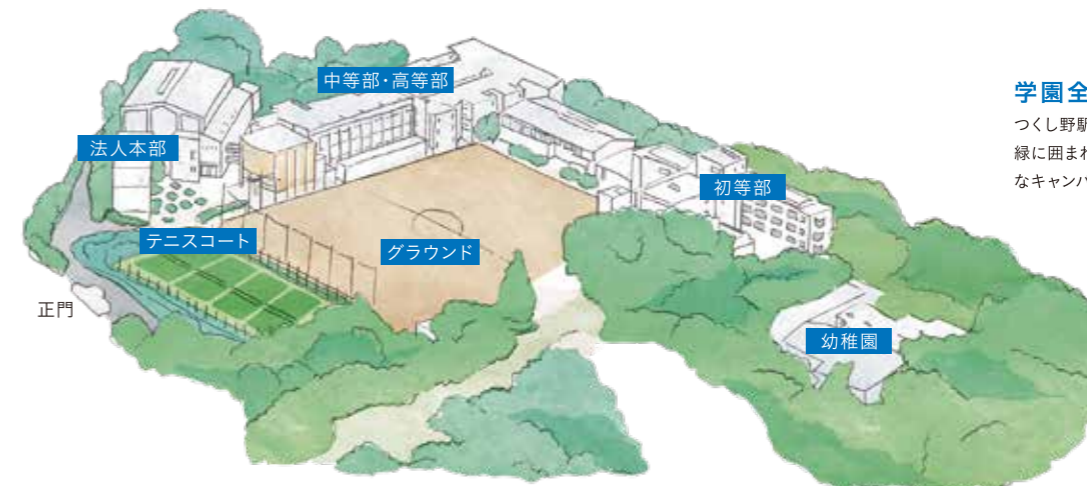
【活動日】
中等部 月・高等部 木
【活動場所】茶室



施設紹介

人を育む環境と 成長を支える学校施設

学園の敷地には豊かな緑が広がっています。
その包み込むようなやさしさが、生徒たちの成長を促してくれます。
さまざまな樹木が自生する自然林が教えてくれる四季のうつろい、美しさ。
清々しく澄み渡る空気。こうした環境が、感性を育てていきます。



学園全景

つくし野駅からほど近い正門をくぐると、
緑に囲まれた東京ドーム1.8個分の広大な
キャンパスが広がります。



エントランス

高等部の生徒・教職員、お客様用の出入り口です。登下校時の混雑を緩和するため、中等部の生徒の玄関は別に設けられています。



ギャラリー

校舎の中央部に位置し、地下1階から地上3階まで吹き抜けになっています。各階の両サイドには、特別教室が配置されています。



生物室

生徒の知的好奇心をくすぐる資料や実験機器が豊富に取り揃えられ、さまざまな実習に対応できます。



カフェテリア

昼は食堂、放課後は生徒たちの憩いの場となります。椅子の色によって中等部生と高等部生のすみわけをしています。



テニスコート

キャンパス内に砂入り人工芝のテニスコートが4面あります。周囲は桜やハナミズキなどのさまざまな季節の草木に囲まれています。



自習室

朝の7時30分から多くの生徒が利用しています。各大学の資料や過去の問題集、サテライト講座なども完備しています。



ホール

1学年の生徒がゆとりを持って集まることのできる、約300席のホール。学年集会や講演会、音楽会、保護者懇談会、学校説明会等で利用します。



第1・第2音楽室

6つある練習室のすべてにピアノが設置されており、合唱のパート別練習にも適しています。



図書館

約6万冊の蔵書を誇り、バリエーションの豊富さも自慢です。学園ホームページでは電子図書館も利用できます。



教室

大きな窓からやさしい光がふりそそぐ、明るく開放的な教室。プロジェクターや音響設備、Wi-Fiも完備しています。



フューチャールーム

ホワイトボードやプロジェクター、可動式の机と椅子を備えており、ディスカッションに適した環境を用意しています。



茶室

茶道部員が使う茶室。部屋の造りや道具も本格的で、和の心が学べる空間です。